株式会社 ホソダSHC

▶対 象 類 型　デザイン
▶事 業 類 型　一般型 試作開発＋設備投資
▶主たる目的　商品開発、技術革新

透析治療用の複数回穿刺（血管に針を刺す行為）練習可能な血管の開発と一般穿刺練習への応用



1
2 3 4

1／人体のような感覚で人工透析の穿刺が練習できる人工血管モデル。 2／新しく開発・導入した血管内皮をコーティングする疑似血管製造装置。 3／疑似表皮や疑似血液成分の分離混合に用いる製造装置。 4／脂肪層材料の加熱整形を行う焼成装置。

人の皮膚のような“リアル感”のある練習用血管モデルを量産化。

繊維、食品原料などを扱う商社のホソダＳＨＣは近年、医学部研修生向け縫合練習キットを商品化するなど、医療支援にも事業分野を広げる。医療現場からの人工透析患者の血管に針を刺す穿刺の練習モデルを求める強いニーズに応え、開発に着手した。

当初は疑似血管、皮膚などを手作業で製造していたが、製造量に限度があり品質も不安定だったため、製造装置の開発・導入で品質の安定化と製造コストの低減を図った。より実践に即した練習のため、血管モデルには▽透析患者の老化した血管の質感▽人体に近い皮膚や脂肪層の質感▽針を刺した時の逆血現象▽複数回練習できることーなどの特性が、医療現場から求められた。

これらの要求に、腐敗や血管の破壊を招かない疑似血液の改善を図るとともに、血管内皮を高品質でコーティングできる疑似血管製造装置を開発。疑似皮膚・脂肪層等の製造では、原材料の油分と水分をナノ化する工程の製造装置と加熱用の焼成装置を導入して、作業を均質化、効率化した。各工程で製造能力は大幅に向上し、月産2ー300個の製造が可能となり、大幅に原価を低減。全国各地でのセミナー開催などを通じた販売戦略が可能となり、国内外での需要拡大を見込む。

注目すべき成果

生産能力の向上と品質の安定化。

手作業で製造した製品では疑似血液の漏れや腐敗、疑似皮膚・脂肪層を作る原材料の均質化のブレなどでロスの多かった品質が、機械化によって安定。生産性が高まるとともに、製造現場の声を反映して作業性も高まった。

注目すべき成果

医療現場のニーズに応える刺入感。

人工透析患者の老化した血管や、皮膚の下で針を進める感覚、血管に針を入れた時の抵抗感、針を刺した時の逆血など、医療現場からの声を反映した実際の血管に極めて近いトレーニングモデルとして、高評価を得ている。

今後の展望

他の部位の血管・臓器モデルへの応用も。

このトレーニングモデルの品質を見て、医療現場からは中心静脈栄養の穿刺を練習するための血管モデルや、医療機器の使用練習に用いる臓器モデルの要望が届くなど、製造技術のさらなる応用への期待が高まっている。

ものづくり専門員から一言

出会いから生まれた新事業。

細田社長の検診時のひょんな会話がきっかけで生まれた未知の分野での新事業。その成否を決めた要因は、取り扱い商品への深い理解と探求心だけではなく、現場主義とあくなき追究による製品化。止めどない改良要求に企業としての使命感で応え続け、新たな市場を浮かびあがらせた。

こんな会社です！

安全性・健康・快適性を求めて。

社名にあるＳ・Ｈ・Ｃが私たちの基本コンセプトです。ＳはSafety。商品自体だけでなく、製造過程までを考え、安全・安心な製品と製造体制をお手伝いします。ＨはHealthy。提供する素材や原料でお客様が製造する製品で、健康的な価値を持つ製品が開発できるよう願っています。そしてＣはComfortable。お客様の製造する製品の心地よさに加え、製造による環境への負荷の低減も含めた快適性も追求しています。新しい事業分野である、医療支援や健康食品の原料となる植物エキスにも、食や医療から安全に健康を改善していくという願いは生きています。



代表取締役
細田 真也さん



現場からの声を反映したモノづくりを進める研究開発環境。



本社

株式会社 ホソダSHC

代表者／代表取締役 細田 真也
設立／昭和27年（1952年）4月
資本金／2,000万円
従業員数／12人
事業内容／染料・薬品販売、食品原料販売、天然素材の企画開発及び販売
売上高／9億2,000万円（29年4月期）
〒910-0854 福井市御幸3-2-21
☎0776-22-4748　FAX.0776-21-2428
URL http://www.hosoda-shc.co.jp
E-mail info@hosoda-shc.co.jp